

カレッジ里山 花実の森 活動報告(2019年11月) 第117号

活動日	時間	天候	記録者
2019年11月14日(木)	9:30~12:00	(晴)	(菅田)
2019年11月27日(水)	9:30~12:00	(曇り)	

参加者氏名 (13+13名)	(11月14日) 菅田忠志、黒子兵吾、小林澄夫、塩ノ谷年子、橋野美子、清水英暢、田路義弘、中西 優、若尾孝子、松本治美、山田喜義、米倉 進、中原一子
	(11月27日) 菅田忠志、小林澄夫、佐藤泰仙、塩ノ谷年子、俵貴志子、田路義弘、南木久枝、橋野美子、松本治美、山田喜義、米倉 進、中西 優、若尾孝子、

今月実施した 作業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年のカブトムシ産卵・生育場所は、もうお役終了なのか今年ここでは数匹の産卵・孵化が認められたのみ。彼らを新しい今年のチップ盛り土に移し、糞が肥料となった古い腐葉土をふるいにかけて、今年のササユリ種まき用のポットに入れて準備完了。 2. 林内で採取用に白い紐で目印を付けておいたササユリの穂8本中2本は見つけられなかったが、未熟の2本を残して4本の熟した穂の採取完了。 3. 採取できた4本の穂からは、数千粒の種が採取できそうなので、次回ポット植えしていく。 4. 花実の森南端の林縁に毎年春に咲き、楽しませてくれていた「ホタルカズラ」が、この春は非常に少なかった。原因は芽生える前のササ刈りを怠ったから？今日、女性陣で林縁のササ刈りを実施してもらった。「ホタルカズラと一緒に刈り取らないよう気を付けてよ〜」…春の花は少なかったものの今年もしっかり残って育っていた。やれやれ、来春は芽吹き前のササ刈りを忘れないようにしましょう。 5. 前回作業ができなかった林内最下部の散策道下草の繁茂がひどかったので、下草刈り作業を行った。(リンドウ・ワレモコウ・キキョウ・ヤマラッキョウなどが咲くコース) 6. 今年のチップで作った「産卵・生育場所」には、たくさんの幼虫(3齢幼虫)が育っているのので、イノシシ・カラス除けの金網防護柵を設置した。5年前に経験した“一晩でイノシシにより全滅”となった対策。 7. 倉庫周辺に残る集積小枝のチップがけ作業も手分けして実施。チップーにかからない太さの枝は残ったが、まき割などをしてチップーに掛けていきたい。 <p>【12月3日(月)午後、里山グループと2回目の合同ミーティングを行います】 これからの里山整備の方針・内容などにつき話し合います。</p>
----------------	--

11月14日



お役終了となった昨年のカブトムシ産卵・生育場所には栄養豊富な腐葉土が作られており、今年のササユリの種まきに使うため、ふるいにかけてポットに準備完了。次回活動日に採種、12月に種まきを予定。



肥沃な腐葉土は約 200 個の小型ポットを満たし、スタンバイ。



11月27日



この日、ドングリやウスタビガのマユと一緒に集めてきたササユリの種。穂の数以上に採種できたササユリの種。1個の穂の中には1000個くらいの種がびっしり詰まっている。自然界では、地上に落ちた種が、発芽・生育・6~7年後に開花まで育つのは何株くらいだろうか。おそらく1%も満たないのでは。自然界はきびしい！



今年のあたらしいチップは、まだまだ腐葉土化していないものの、ことしのカブトムシ成虫が7~8月にしっかり産卵したものが、孵化・脱皮を繰り返し、3齢幼虫に育っていることが7月の親子観察会で確認できている。イノシシ被害対策として金網枠の取り付けを完了させる。



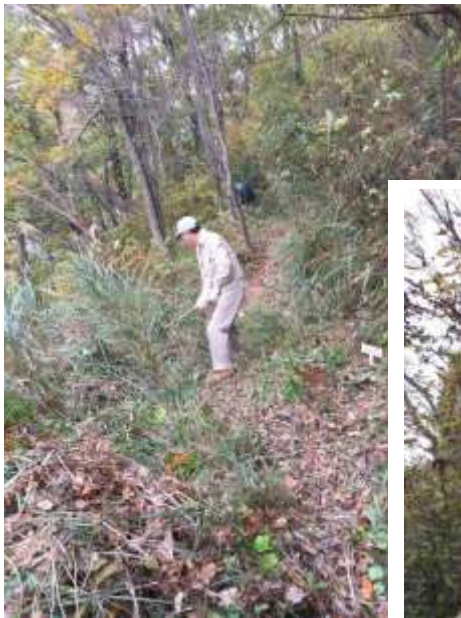
林縁部のササ・下草刈り作業。この作業を怠るとこの付近に育つホタルカズラに陽がささず、春の開花ができずに終わることになる模様。来春はしっかり咲くんだよ。そうそう、ホタルカズラは刈り取らないよう気をつけて。



ネザサ・下草が刈り取られ、日が地面に届くようになった。



ネザサ・下草が刈り取られた跡には、しっかりと今年のホタルカズラが育っていた。



最下段の散策道兼作業道の整備も欠かせない作業のひとつ。



林内から回収していた小枝のチップがけ。



林内のシイタケホダ木から収穫してきたシイタケのおみやげ。活動の楽しみのひとつ。



林内でちょっと気になる花を発見。確認要。スミレ？園芸種の花？